

支社長席



基幹支社として事業量確保

南関東支社は東京、神奈川、山梨を営業範囲とする全社の売上・利益の2割を担う基幹支社であり、会社から寄せられる期待は大

大成ロテック執行役員
南関東支社長

町田 佳隆氏

まちだ よしたか



きい。「持続的な成長や経営の安定性が求められている。そのためには、新設の道路工事が減少していく中でも事業量の確保が必要だ」と述べ、本業の道路に関わる工事を中心とした事業範囲の拡大に努める姿勢だ。

舗装事業では、防災減災につながる維持補修に注力するほか、「安定した事業量確保のために、複数年にわたるロングスパンの工事に力を入れたい」としている。製品事業では、廃材のリサイクル事業の多角化を促進する。

また、「安全・環境・品質にももちろん力を入れていく」と強調。「自社だけでなく業界全体の模範

となるような管理をしていく。慣例にとらわれず、事故災害をなくすために何が必要かをよく考え改善・改革を実行し、安全文化を醸成していきたい」と意欲を示す。働き方改革では「画期的な方策というものはなかなかないが、効果的な具体策を支社から発信できるようワーキンググループを立ち上げて取り組んでいる」

教育では、大成建設在籍中に大学院で建設マネジメントを学んだ経験を生かし、「契約管理の重要性を社員にも身につけてもらえるようにしたい」と述べた。

1983年3月北大工学部土木工学科卒業、同年4月大成建設入社。前職は大成ロテック南関東支社副支社長兼横浜支社長。愛知県出身。60年1月8日生まれ、60歳。